

わんぱく天国リニューアルに係る検討状況について

1 趣旨

昭和62年の開設から38年が経過したわんぱく天国が抱える遊具等の老朽化やプレーリーダーの担い手不足等の状況を改善し、持続可能な体制を構築することを目的として「わんぱく天国リニューアル検討委員会」を設置した。同委員会において行った検討内容及び今後の取組について報告する。

2 基本設計の概要

子どもが自然の中で自由に発想し、挑戦や試行錯誤を重ねながら遊べる環境を整えるため、次の整備等を行う。

(1) 大型遊具（ジャンボゲート）の改築

日常の遊びの実態等を踏まえ、ジャンボゲートが持つ象徴性や機能を残しつつ、遊びの広がりを生み出す拠点として改築する。なお、設計構想は千葉大学への研究委託によるものである。

(2) 自然遊びの拡充

子どもが自然と触れ合い、五感を使いながら思いきり遊べる場とするため、既存の畑や池を改修するほか、水遊びや泥遊びができるよう、土の入替えや、環境や経済性に配慮した井戸や雨水タンク、近隣に配慮した火を使えるかまど場を新たに整備する。

(3) 木工遊びの拡充

現在の木工室に加え、より大きな工作や共同制作等にも対応できるよう屋外工作室を整備する。

なお、利用ニーズの高い木工遊びを、より安全かつ機能的に行えるよう令和8年度にすみだわんぱく砦の基本・実施設計を行い、木工室（すみだわんぱく砦1階部分）の内装・設備の更新、トイレ環境等の改善を図る。

(4) 休憩・交流・見守り環境の整備

日差しや雨天時の待機場所として対応するとともに、保護者等が子どもの遊びを見守りやすく、来園者が自然に滞在・交流できる環境を確保するため、屋根付き休憩スペースである四阿（あずまや）を設置する。

3 運営体制の見直し

これまで有償ボランティアの協力を得て区直営により運営してきたが、子どもの遊びに関する専門性の確保と持続可能な体制を構築する観点から、令和8年度からは、公募型プロポーザルにより選定した事業者運営を委託し、プレーパークとしての機能の充実を図る。

4 今後のスケジュール（予定）

令和8年度 実施設計（わんぱく広場、やすらぎ広場）

基本・実施設計（すみだわんぱく砦）

運営委託開始

不要物撤去

令和9年度～ 改修工事（わんぱく広場内の区域を区分し、一部閉鎖の上
で運営を継続（片面運営）する予定である。）

改修工事後 リニューアルオープン

5 イメージパース



6 添付資料

改修後の平面図 . . . 別添1のとおり

ジャンボゲート改築設計構想 . . . 別添2のとおり